

平成22年5月期 第1四半期決算短信（非連結）

平成21年10月15日

会社名 五洋食品産業株式会社

本社所在都道府県 福岡県

本社所在地 福岡市博多区東那珂2-20-5

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
氏名 藤 和崇

TEL (092) 471-6451

1. 平成22年5月期第1四半期の業績（平成21年6月1日～平成21年8月31日）

（注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
22年5月期第1四半期	219,581	(34.69)	14,285	(-)	12,030	(-)
21年5月期第1四半期	163,029	(-)	△28,552	(-)	△29,434	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
22年5月期第1四半期	11,485	(138.6)	60 74	-	48.6	1.8	6.5
21年5月期第1四半期	△29,724	(-)	△186 64	-	△131.6	△5.9	△18.0

（注）1. 期中平均株式数 22年5月期第1四半期 189,060株 21年5月期第1四半期 160,524株

2. 会計処理の方法の変更 (有) ・ 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率で表示しております。なお、平成21年5月期の第1四半期につきましては、今期より初めて四半期決算を実施致しましたので、前年同期の業績についての記載及び対前年同四半期増減率の記載は省略しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価の把握ができないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	千円		千円		%	円 銭
22年5月期第1四半期	594,321		29,350		4.9	155 24
21年5月期	665,450		17,865		2.7	94 49

（注）期末発行済株式数 22年5月期第1四半期 189,060株 21年5月期第1四半期 160,524株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
22年5月期第1四半期	△12,500	△6,600	△17,300	127,921
21年5月期第1四半期	6,200	△5,800	16,100	96,126

2. 平成22年5月期の業績予想（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	977,080	70,144	36,689	-	-	-	0	0

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）183円29銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

第 3 5 期 第 1 四半期報告書
(平成 21 年 6 月 1 日から平成 21 年 8 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号)	五洋食品産業株式会社
英 文 名	GOYOFOODS. INDUSTRY. CO., LTD
代表者の役職氏名	代表取締役社長 舩田 圭良
本店の所在の場所	福岡県福岡市博多区東那珂二丁目 20 番 5 号
電 話 番 号	0 9 2 - 4 7 1 - 6 4 5 1
連 絡 者	取締役管理部長 藤 和崇

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

科 目	期 別	当期累計	前年同期累計
	第 3 5 期 第 1 四半期	自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日	自 平成 20 年 6 月 1 日 至 平成 20 年 8 月 31 日
	金 額	金 額	金 額
I 売上高	219,581	219,581	163,029
II 売上原価	154,423	154,423	144,169
売上総利益	65,157	65,157	18,860
III 販売費及び一般管理費	50,871	50,871	47,412
営業利益又は営業損失(△)	14,285	14,285	△28,552
IV 営業外収益	912	912	1,191
V 営業外費用	3,167	3,167	2,073
経常利益又は経常損失(△)	12,030	12,030	△29,434
VI 特別利益	-	-	-
VII 特別損失	545	545	289
税引前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	11,485	11,485	△29,724
法人税、住民税及び事業税	154	154	415
法人税等調整額	-	-	7
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	11,331	11,331	△30,146

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科目	期 別	第 3 5 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日	自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日	自 平成 20 年 6 月 1 日 至 平成 20 年 8 月 31 日
期 中 平 均 株 式 数		189,060 株	189,060 株	160,524 株
1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)		60 円 74 銭	60 円 74 銭	△186 円 64 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 利 益		—	—	—

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価の把握ができないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第 3 5 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日	自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日	自 平成 20 年 6 月 1 日 至 平成 20 年 8 月 31 日
生協用販売事業		113,909	113,909	85,280
業務用販売事業		93,037	93,037	69,755
新規(通販・小売等)事業		12,635	12,635	7,994
合 計		219,581	219,581	163,029

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 3 4 期 末 平成 21 年 5 月 31 日 現 在		第 3 5 期 第 1 四 半 期 平成 21 年 8 月 31 日 現 在	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%
I 流動資産	427,476	64.2	354,282	59.6
1. 現金及び預金	171,876		127,921	
2. 受取手形	1,744		1,681	
3. 売掛金	171,214		138,278	
4. 製品	39,131		50,763	
5. 原材料	9,774		7,454	
6. 仕掛品	3,558		3,050	
7. 貯蔵品	5,475		5,492	
8. 立替金	49		426	
9. 前払費用	285		2,240	
10. 短期貸付金	15,210		5,822	
11. 未収入金	581		517	
12. 仮払金	7,255		9,309	
13. 預け金	1,321		1,321	
II 固定資産	237,964	35.7	240,039	40.3
1. 有形固定資産	210,417	31.6	209,492	35.2
(1) 建物	26,079		26,079	
(2) 建物付属設備	3,954		3,953	
(3) 構築物	2,215		2,215	
(4) 機械及び装置	19,176		19,175	
(5) 車両運搬具	197		197	
(6) 工具器具及び備品	2,859		3,607	
(7) 土地	154,757		154,756	
(8) 建物仮勘定	1,179		1,179	
2. 無形固定資産	1,205	0.1	4,173	0.7
(1) 電話加入権	377		377	
(2) ソフトウェア	828		779	
(3) リース資産	-		3,016	
3. 投資その他の資産	26,342	3.9	26,373	4.4
(1) 投資有価証券	220		220	
(2) 出資金	310		310	
(3) 敷金	19,910		19,910	
(4) 長期貸付金	440		420	
(5) 長期前払費用	5,398		5,443	
(6) 保険積立金	46		52	
(7) 繰延税金資産	17		17	
資 産 合 計	665,441	100.0	594,321	100.0

(単位:千円)

科 目	期 別	第 3 4 期 末 平成 21 年 5 月 31 日 現 在		第 3 5 期 第 1 四 半 期 平成 21 年 8 月 31 日 現 在	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	(負債の部)		%		%
I	流動負債	358,011	53.8	286,813	48.2
1.	支払手形	14,812		12,008	
2.	買掛金	88,791		51,262	
3.	短期借入金	130,000		120,000	
4.	未払金	47,902		18,181	
5.	未払費用	376		14,479	
6.	未払法人税等	2,365		-	
7.	未払消費税等	800		2,721	
8.	預り金	5,819		5,376	
9.	1年内返済予定の長期借入金	67,146		62,785	
II	固定負債	289,564	43.5	278,156	46.8
1.	長期借入金	235,895		221,300	
2.	リース債務	-		3,187	
3.	繰延税金負債	1		1	
4.	退職給付引当金	3,668		3,667	
5.	資本性劣後特約付借入金	50,000		50,000	
負 債 合 計		647,575	97.3	564,970	95.0
	(純資産の部)				
I	株主資本	17,890	2.6	29,375	4.9
1.	資本金	118,157	17.7	118,157	19.8
2.	資本剰余金	78,157	11.7	78,157	13.1
(1)	資本準備金	78,157		78,157	
3.	利益剰余金	△178,426	△26.8	△166,090	△27.9
(1)	利益準備金	2,150		2,150	
(2)	その他利益剰余金	△180,576		△169,090	
	繰越利益剰余金	△180,576		△169,090	
II	評価・換算差額等	△24	0	△24	0
1.	その他有価証券評価差額金	△24		△24	
純 資 産 合 計		17,866	2.6	29,350	4.9
負 債 純 資 産 合 計		665,441	100.0	594,321	100.0

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 3 4 期 末	第 3 5 期 第 1 四 半 期
		平成 21 年 5 月 31 日 現 在	平成 21 年 8 月 31 日 現 在
発 行 済 株 式 数		189,060 株	189,060 株
1 株 当 た り 純 資 産 額		100 円 84 銭	155 円 24 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成 21 年 6 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日)

(単位：千円)

項 目	株主資本						株主資本 合計	評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本剰余金		利益剰余金			株主資本 合計		その他 有価証券 評価差額金	
	資本金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益準備金	利益剰余金 合計		その他 有価証券 評価差額金		
平成 21 年 5 月 31 日 残高	118,158	78,158	78,158	△180,576	2,150	△178,426	17,890	△24	17,866
第 1 四 半 期 中 の 変 動 額									
四 半 期 純 利 益				11,485		11,485	11,485		11,485
第 1 四 半 期 中 の 変 動 額 合 計				11,485		11,485	11,485		11,485
平成 21 年 8 月 31 日 残高	118,158	78,158	78,158	△169,090	2,150	△166,940	29,375	△24	29,350

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成の為に採用している基準と同一のものを適用しております。

なお、当第 1 四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

当第 1 四半期より減価償却の方法について、建物、建物付属設備、構築物、機械および装置、車両運搬具、工具器具備品につきましては、従来、定率法による算出を行っていたものは定額法への変更を行っております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

II 第35期第1四半期の業績の概況(平成21年6月1日から平成21年8月31日)

当第1四半期のわが国経済は、第34期(平成20年6月1日から平成21年5月31日)から続く景気の悪化が影響し、極めて厳しい状況が続きました。設備投資につきましても減少が続き、個人消費も低水準に推移しました。

世界的な金融危機の深刻化や景気のなお一層の下ブレ懸念という要因に加え、雇用情勢の悪化など足元の要因も大きく影響しました。

食品製造業界におきましても極めて厳しい環境が続きました。とりわけ、地域経済圏におきましては、大手製造業による生産調整などに伴い雇用情勢や所得環境が急激に悪化し、販売環境はさらに厳しさを増しております。

このような環境下、当社は第34期第3四半期以降、「スイーツストック」市場創設という外部環境整備の取り組みと利益改善という内部環境整備の取り組みを同時に推進し、売上高の確保、利益の確保を図ってまいりました。当初予測売上高に対しては若干の計画未達ではありますが、利益面においては予測利益を確保することが出来ました。

ただし、利益率に関しましては、計画未達となりました。その要因としては前年より取り組みの始まったカタログ販売へのPB商品供給による製造原価の増加、生産効率の悪化がありました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は219,581千円(前年同期比34.6%増)、営業利益14,285千円(前年同期は28,552千円の損失)、経常利益12,030千円(前年同期は29,434千円の損失)、当期純利益11,485千円(前年同期は29,724千円の損失)となりました。

以上のように、当第1四半期の経営成績はいずれも前年同期と比較して大きく改善しております。ただ、前年同期は外的要因であった冷凍食品ギョーザ問題などによる販売の不振、商品在庫過多による製造環境の悪化、新規事業展開構築準備による経費増加などのマイナス要因があり、それゆえ当第1四半期との比較にはなじまないところがあります。とはいえ、そうした特殊事情を差し引いてもなお当第1四半期は好調であり、販売の促進、利益率の維持向上、固定費の圧縮による経営成績を押し上げる要因となりました。

III 第35期通期の売上高及び利益の予測について

(単位：千円)

科 目	期 別	第34期(実績)	第35期(予測)
		自平成20年6月1日 至平成21年5月31日	自平成21年6月1日 至平成22年5月31日
売 上 高		776,630	977,080
営 業 利 益		△30,962	79,931
経 常 利 益		△34,942	70,144
当 期 純 利 益		△40,176	36,689

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位:千円)

科 目	期 別	第35期第1四半期	
		自 平成21年6月1日	至 平成21年8月31日
現金及び預金の増減額		△43,955	
現金及び預金の期首残高		171,876	
現金及び預金の四半期末残高		127,921	

(主な増減理由)

当第1四半期の現金及び預金の主な増減理由は、税引前四半期純利益による増加額11,485千円、仕入債務の減少による減少額40,333千円、未払金の減少による減少額15,713千円、棚卸資産の増加による減少額8,822千円、短期借入金の減少による減少額10,000千円、長期借入金の減少による減少額14,595千円、短期貸付金の減少による増加額9,756千円によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位:千円)

科 目	期 別	第35期第1四半期	
		自 平成21年6月1日	至 平成21年8月31日
短期借入金増減額		△10,000	
短期借入金の期首残高		130,000	
短期借入金の四半期末残高		120,000	

(主な増減理由)

当第1四半期の短期借入金の主な増減理由は、短期運転資金にかかる金融機関からの増加額140,000千円及び同返済による減少額150,000千円によるものであります。

(3) 長期借入金の増減 (1年以内返済予定長期借入金を含む)

(単位:千円)

科 目	期 別	第35期第1四半期	
		自 平成21年6月1日	至 平成21年8月31日
長期借入金増減額		△18,956	
長期借入金の期首残高		353,041	
長期借入金の四半期末残高		334,085	

(主な増減理由)

当第1四半期の長期借入金の主な増減理由は、長期運転資金にかかる金融機関からの借入金返済による減少額18,956千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。